



■中学生による手踊り / 川床四自治公民館連絡協議会



↑棒踊り / 蔵之元子ども育成会



↓若者の手踊り / 薄井青年団

御八日踊りの由来

長島町の伝統行事、御八日踊りが8月8日、町内の神社や集落で繰り広げられました。

同日は、朝から各地区に伝承されている鉦踊りや棒踊り種子島衆などが奉納され、町内の雰囲気は祭り一色となりました。

蔵之元の十五社神社では、各地区の踊り子たちが汗だくになりながら勇壮な舞を披露。観覧に集まった地区民から、たくさんのお声援や拍手が送られていました。

踊りは各集落の若者たちによって奉納されていましたが、その後生活改善その他の理由で、期日も新暦の8月8日に奉納されるようになりました。

津忠兼が、城川内の堂崎城主天草越前正を攻め滅ぼし、島津領としましたが、甥の出水領主島津義虎に同年旧7月8日、出水城で謀殺されました。その後、長島全土に悪疫が流行したため、島民はこれを忠兼のためりとして、その霊を慰めるために、若宮神社に忠兼の御霊を祀り、毎年旧暦7月8日に大祭をして、踊りを奉納することになりました。

勇壮な舞で悪疫退散

町内各地で伝統の御八日踊り



■中学生による種子島踊り / 平尾郷土芸能保存会